

## 事前評価報告書

研究課題名： 生体材料

評価委員会委員長名： 立石哲也

記入年月日：平成12年9月5日

評価の視点	評価結果
<p>[課題の設定]</p> <p>新規性・独創性</p> <p>学問・材料技術の進歩発展</p> <p>国家的・社会的・産業界的要請</p> <p>新しい学問分野開拓</p> <p>緊急性</p> <p>波及効果</p>	<p>我国の罹患率の高い疾患に対する根治療法技術をねらった新材料の開発は緊急な国家的要請であり新規性、発展性も認められる。新材料研究機構のフレキシビリティを示す無機-有機-金属材料の複合化、多機能化および組織再生をうながす材料技術は多分野への波及効果も高い。</p>
<p>[課題の解決方法]</p> <p>研究手法・実験方法の新規性・独創性</p> <p>研究方法の精密・緻密さ、研究手法・実験方法の妥当性</p>	<p>硬・軟組織を結合する傾斜化材料および生体内安定性のあるアモルファス金属材料の創製に新規性、独創性があり、これまでの実績に裏付けられた研究方法は妥当である。</p>
<p>[研究実行計画]</p> <p>年次計画</p> <p>予算規模</p> <p>購入設備計画</p>	<p>3年間で素材のスクリーニングおよび基礎物性試験を完了し、4年目から企業、臨床を含めて、実用化研究を実施する点に実用化を念頭に置いた計画として評価できる。</p> <p>生物医学的試験に対する、より一層の予算措置が必要になる。</p>
<p>[その他]</p>	<p>新法人の下で企業への技術移転、臨床応用の促進を担当する人材が必要となろう。</p>
<p>[総合評価]</p> <p style="margin-left: 40px;"> <input checked="" type="radio"/> A : 規課題として実行すべきである  <input type="radio"/> B : 新規課題として一部修正して実行すべきである  <input type="radio"/> C : 新規課題として不適切である         </p>	
<p>コメント:</p>	